

# 設置計画履行状況等調査の結果について (平成30年度)

## 1. 調査の概要

設置計画履行状況等調査（以下「調査」という。）は、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年文部科学省令第12号）第14条（※1参照）に基づき、大学・大学院，短期大学，高等専門学校（以下「大学等」という。）の設置認可時等における附帯事項及び授業科目の開設状況，教員組織の整備状況，その他の設置計画の履行状況について，各大学等から報告を求め，大学設置・学校法人審議会大学設置分科会において，学問的・専門的な観点から調査を行い，各大学等の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施しているものである。

## 2. 調査対象

調査は，原則として，開設年度に入学した学生が卒業する年度（以下「完成年度」という。）までの間，認可を受けた者又は届出を行った者に対して書面調査を実施し，必要に応じて，面接調査，実地調査を行っている。

なお，調査で指摘された対応が不十分な大学等については，完成年度後も継続して調査を行う場合がある。

## 3. 平成30年度調査結果の概要

調査対象校数は全442校（うち，完成年度後も継続して調査を行った対象校数は33校）であり，面接調査を実施したのは30校，実地調査を実施したのは17校であった。

調査の結果，設置計画が適切に履行されていないとして指摘が付された大学等は118校であった。

調査は，大学等の設置計画に対する履行状況を確認の上，必要に応じて改善等を求めるものであるが，平成30年度の調査では，主に次のような事例が確認された。

- 大幅な入学定員の未充足が続いている大学等（6校）や，大幅に入学定員を超過している大学等（12校）など，収容定員が適切に管理されておらず，結果として教育にふさわしい環境が確保されているか危惧される事例
- 専任教員が辞任等している中で，十分な補充の検討がなされていない状態の大学等など，設置計画で示された教員組織が適切に編制されておらず，学生に対する教育の質の低下が危惧される事例（9校）

- 多くの留学生を受入れる大学等の入学者選抜時において、入学志願者の能力・適性等に関する厳格な審査や入学後における日本語能力の向上を含む学修面・生活面の支援が十分に実施されていないため、留学生の教育環境の低下が危惧される事例（2校）

各申請者においては、設置計画が「社会に対する『約束』」であることを十分認識し、安易に設置計画を変更することなく、それぞれの人材養成の目的の実現に向けて、確実に履行することを改めて強く求めたい。

	国立	公立	私立	計
調査対象校	86校	27校	329校	442校
うち、指摘が付された大学等	1校	2校	115校	118校
指摘事項（法令違反）が付された大学等	0校	0校	0校	0校
指摘事項（是正）が付された大学等	1校	1校	16校	18校
指摘事項（改善）が付された大学等	1校	1校	106校	108校

（注）同一校に各区分の指摘事項が付された場合にはそれぞれで計上している。

#### 4. 設置計画履行状況報告書等の情報公開

履行状況を記載した設置計画履行状況報告書等は、社会に対する説明責任を果たすために、各大学等のホームページ等を利用し、情報を必要とする者が容易に確認できるよう積極的に公開することが求められる。

なお、本調査の結果は、全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※2参照）と有機的な連携が図られるよう各認証評価機関に対して送付するとともに、有益な情報として活用されるよう都道府県の高等学校担当部署（教育委員会及び私立学校所管部局）に対しても送付する。

## 参 考

### 1. 用語の定義

種類	定義
附帯事項	認可を受けた者が設置計画を履行するに当たって遵守すべき事項及び充実することが望まれる事項
指摘事項(法令違反)	設置計画履行状況調査の結果、法令に抵触すると認められる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、必要な措置をとることを求める事項
指摘事項(是正)	設置計画履行状況調査の結果、設置計画の履行状況が不適当な事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、是正を求める事項
指摘事項(改善)	設置計画履行状況等調査の結果、充実や改善が望まれる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対してこれを通知する事項

(注1) 平成30年度から調査結果を「意見」から「指摘事項」に改正し、上記の3区分としている。

(注2) 指摘事項(法令違反)を受けながら、早急な是正に向けた対応がなされていないと認められる場合には、学校教育法第15条に基づき改善を求めることがある。

(注3) 指摘事項(是正)を受けながら、正当な理由なくその改善に向けた対応がなされず、設置計画の履行の状況が著しく不適当と認められる場合には、当該大学等の設置者に対し、新たな学部設置等の認可をしないこととしている。

### 2. 関係法令

※1 「大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年3月31日文科省令第12号）」（抄）

第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。

※2 「学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）」（抄）

第109条（略）

2 大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

3 専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

4（略）

## ○「指摘事項（是正）」が付された大学等（国立1校、公立1校、私立16校）

No.	設置者区分	大学等名	指摘事項（是正）の内容
1	国立	京都工芸繊維大学大学院	「工芸科学研究科京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻（M）」 ○相手国の学生も履修する一部の科目のシラバスが日本語のみになっており、相手国の学生が科目選択をする際に支障をきたしているため、全てのシラバスについて、少なくとも日本語と英語で作成すること。併せて、シラバスの授業計画項目の記載については、各回の内容が分かるよう適切に改めること。
3	公立	長崎県立大学	「国際社会学部国際社会学科」 ○専任教員数が届出時の計画から減少しているにもかかわらず、補充の検討もなされていない。教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保すること。
4	私立	札幌保健医療大学	「保健医療学部栄養学科」 ○平均入学定員充足率が0.29倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。
22	私立	人間総合科学大学	「人間科学部ヘルスフードサイエンス学科」 ○平均入学定員充足率が0.12倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。
35	私立	東京医療学院大学	「保健医療学部看護学科」 ○専任教員数が認可時の計画から減少している専攻分野がある。このため、学外実習において専門分野以外の教員が学生指導の補助を行うほか、学期の途中で授業の開講日時が突然変更されるなど、教育課程が適切に運営されていないため、専任教員の補充や実習補助者の導入を行うなど、教育課程の実施に必要な体制を確保すること。
37	私立	東京純心大学	「看護学部看護学科」 ○専任教員数が認可時の計画から減少し、速やかに補充もなされなかったため、学外実習において専門分野以外の教員が巡回指導を行うほか、学期の途中で授業の担当教員や開講日時が突然変更されるなど、教育課程が適切に運営されていない。設置計画に示されている専任教員数の確保や実習補助者の導入を行うなど、教育課程の実施に必要な体制を確保すること。なお、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。
42	私立	神奈川工科大学	「看護学部看護学科」 ○認可時の計画から公衆衛生及び在宅看護分野をはじめとして専任教員数が減少しているため、授業、学生指導などの教育の質の低下が危惧されるとともに、多くの教員が辞任するなど（4年間で延べ17名）し、入れ替わりが生じることによる学生の混乱も生じている。設置計画に示されている専任教員数を確実に補充するほか、教員の定着率の向上に努めること。なお、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。
43	私立	松蔭大学	「経営文化学部経営法学科」 ○平均入学定員充足率が0.27倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。  「経営文化学部金融経済学科」 ○平均入学定員充足率が0.12倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。  「看護学部看護学科」 ○「卒業演習」について、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の教育課程として配置しているが、シラバスの授業目標の一部に掲げられている「国家試験を見据えて試験方式で知識・技術のエビデンスを自己評価できる」との内容は、授業目標の設定として不適切であるため、是正すること。  「コミュニケーション文化学部子ども学科」 ○平均入学定員充足率が0.20倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。
49	私立	新潟経営大学	「観光経営学部観光経営学科」 ○平均入学定員充足率が0.29倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。

No.	設置者区分	大学等名	指摘事項（是正）の内容
67	私立	鈴鹿大学	<p>「国際人間科学部国際学科」 ○学生数が定員を大きく超過（平成30年度：1.29倍）している。また、多くの留学生（平成30年度：129名中89名）を受入れている一方で、留学生を中心として多数の退学者（平成29年度：計41名、うち留学生は29名）が生じている。学生数を収容定員に基づき、適正に管理するとともに、学生数の確保という観点で安易に留学生等を受入れることなく、入学志願者の能力・適性等を適切に判定するよう是正するほか、入学後の学生の学修指導や学生支援の充実に取り組むこと。</p> <p>「こども教育学部こども教育学科」 ○平均入学定員充足率が0.27倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。</p>
78	私立	梅花女子大学	<p>「食文化学部管理栄養学科」 ○専任教員数が届出時の計画から減少しているにもかかわらず、補充の検討もなされていない。教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保すること。</p>
79	私立	大和大学	<p>「教育学部教育学科、保健医療学部看護学科、総合リハビリテーション学科」 ○教員選考の客観性及び厳格性が不十分と考えられ、授業、学生指導など教育の質の低下が危惧される。教員選考の客観性及び厳格性を確保するために審査の基準やプロセスを是正するとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。</p>
83	私立	神戸山手大学	<p>「現代社会学部観光文化学科」 ○専任教員数が届出時の計画から減少しているにもかかわらず、補充の検討もなされていない。教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保すること。</p> <p>○「キャリアプランニング（1）、A、B、C」の到達目標が就職対策に向けた設定となっており、卒業要件単位に含める授業科目としてふさわしくないため、是正すること。</p>
90	私立	高野山大学	<p>「文学部人間学科」 ○平均入学定員充足率が0.30倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。</p>
95	私立	広島修道大学	<p>「健康科学部心理学科」 ○本学科の特色となる「活動推進学期」（2年次3学期）に関する学生への履修指導が十分に実施されておらず、設定された「海外セミナー」、「地域援助実践体験」及び「心理学とキャリア形成」のいずれも履修しない学生が多数生じているほか、受入先の充実等に向けた取り組みも不十分である。これらの状況は、設置計画及び認可時の留意事項の不履行であるため、提示された改善方針を確実に履行し、教育の質の向上に努めること。</p> <p>○「海外セミナー」によって海外大学で取得した単位の認定方法が適切でないため、是正すること。</p>
109	私立短大	東京経営短期大学	<p>「こども教育学科」 ○入学者選抜について、大学入学者選抜実施要項で推薦入試の募集人員は入学定員の5割を超えない範囲において定めるところ、本学の平成31年度の募集要項では入学定員の5割を超える推薦入試の募集人員の設定となっている。さらに、実際の合格者についてもほとんどが募集人員を超えるAO入試による状況となっており、その合理的な理由も認められない。このため、大学入学者選抜実施要項も踏まえて本学が自ら定める募集人員を設定し、それに即した適切な入学者選抜を行うよう是正すること。</p>
110	私立短大	山野美容芸術短期大学	<p>「美容総合学科国際美容コミュニケーション専攻」 ○平均入学定員超過率が3.24倍と著しく高い。同一学科には入学定員充足率が低い専攻があるが、専攻を単位として定員管理が適切に実施されていないため、学科内の入学定員の設定の見直しも検討しつつ、是正すること。</p>
116	私立短大	東大阪大学短期大学部	<p>「介護福祉学科」 ○留学生選抜入試について、抽象的な評価項目により学生選抜が実施されており、日本語能力を的確に判定できるものとなっていないほか、平成30年4月に入学した全81名の入学者のうち日本人学生は1名のみで、他は全て外国人留学生等となっている。これらの状況は、設置計画及び認可時の留意事項の不履行であるとともに、学生数の確保という観点で安易に留学生等を受入れているものであるため、是正すること。</p> <p>○複数の科目の定期試験について、シラバスで明示された到達目標を確認する内容になっていないものや、大学教育の水準に照らしてふさわしくない内容のものがあった。また、多くの科目のシラバスで事前・事後学修が明示されていないものもあった。これらについて、是正すること。</p>

（注）「No.」欄の数字は「平成30年度 設置計画履行状況等調査結果」の「No.」欄の数字と一致している。

○「指摘事項（改善）」が付された大学等（国立1校，公立1校，私立106校）

No.	設置者区分	大学等名
1	国立	京都市芸繊維大学
		京都市芸繊維大学大学院 ※
2	公立	敦賀市立看護大学大学院
4	私立	札幌保健医療大学 ※
5	私立	日本医療大学
6	私立	北海道文教大学大学院
7	私立	東北芸術工科大学
8	私立	いわき明星大学
9	私立	常磐大学
10	私立	日本ウェルネススポーツ大学
11	私立	国際医療福祉大学
12	私立	作新学院大学
13	私立	育英大学
14	私立	東京福祉大学
15	私立	浦和大学
16	私立	埼玉学園大学
		埼玉学園大学大学院
17	私立	埼玉工業大学大学院
18	私立	十文字学園女子大学
19	私立	東都医療大学
20	私立	日本工業大学
21	私立	日本保健医療大学
22	私立	人間総合科学大学 ※
23	私立	文教大学
24	私立	秀明大学
25	私立	麗澤大学大学院
26	私立	杏林大学
27	私立	駒沢女子大学
28	私立	昭和女子大学
29	私立	杉野服飾大学
30	私立	大正大学
31	私立	玉川大学
32	私立	帝京大学大学院
33	私立	帝京科学大学
34	私立	帝京平成大学
36	私立	東京家政大学
38	私立	東京女子大学
39	私立	東京通信大学
40	私立	日本体育大学大学院
41	私立	早稲田大学大学院

No.	設置者区分	大学等名
43	私立	松蔭大学 ※
44	私立	湘南医療大学
45	私立	鶴見大学大学院
46	私立	横浜商科大学
47	私立	横浜創英大学
48	私立	横浜薬科大学
50	私立	新潟食料農業大学
51	私立	新潟薬科大学
52	私立	高岡法科大学
53	私立	金沢学院大学
54	私立	金沢工業大学
55	私立	金沢星稜大学
56	私立	福井医療大学
57	私立	福井工業大学
		福井工業大学大学院
58	私立	山梨学院大学
59	私立	静岡理工科大学
60	私立	愛知大学
61	私立	愛知淑徳大学
62	私立	愛知東邦大学
63	私立	一宮研伸大学
64	私立	東海学園大学
65	私立	名古屋学院大学
66	私立	名古屋学芸大学
68	私立	京都学園大学
69	私立	京都光華女子大学
70	私立	京都精華大学
71	私立	京都ノートルダム女子大学
72	私立	大阪青山大学
73	私立	大阪芸術大学
74	私立	大阪歯科大学
75	私立	大阪樟蔭女子大学
76	私立	大阪体育大学
77	私立	帝塚山学院大学
80	私立	関西福祉大学
		関西福祉大学大学院
81	私立	甲南女子大学
		甲南女子大学大学院
82	私立	神戸女子大学
83	私立	神戸山手大学 ※

No.	設置者区分	大学等名
84	私立	姫路大学大学院
85	私立	姫路獨協大学
86	私立	兵庫大学
87	私立	流通科学大学
88	私立	帝塚山大学
89	私立	奈良学園大学大学院
90	私立	高野山大学 ※
91	私立	岡山理科大学
92	私立	吉備国際大学
		吉備国際大学大学院
93	私立	倉敷芸術科学大学
94	私立	中国学園大学
96	私立	広島女学院大学
97	私立	広島文化学園大学
		広島文化学園大学大学院
98	私立	安田女子大学
		安田女子大学大学院
99	私立	徳島文理大学
		徳島文理大学大学院
100	私立	九州産業大学
101	私立	産業医科大学大学院
102	私立	筑紫女学園大学
103	私立	尚綱大学
104	私立	九州保健福祉大学
105	私立	宮崎国際大学
106	私立	第一工業大学
107	私立短大	青森明の星短期大学
108	私立短大	仙台赤門短期大学
109	私立短大	東京経営短期大学 ※
111	私立短大	金沢学院短期大学
112	私立短大	愛知みずほ短期大学
113	私立短大	名古屋女子大学短期大学部
114	私立短大	ユマニテク短期大学
115	私立短大	池坊短期大学
116	私立短大	東大阪大学短期大学部 ※
117	私立短大	佐賀女子短期大学
118	私立高専	国際高等専門学校

（注1）「No.」欄の数字は「平成30年度 設置計画履行状況等調査結果」の「No.」欄の数字と一致している。

（注2）※は「指摘事項（是正）」も付されている大学等。

○指摘事項が付されなかった大学等（国立85校、公立25校、私立214校）

設置者区分	大学等名
国立	北海道大学大学院
国立	帯広畜産大学大学院
国立	旭川医科大学
国立	北見工業大学
国立	弘前大学
	弘前大学大学院
国立	岩手大学
	岩手大学大学院
国立	東北大学
	東北大学大学院
国立	秋田大学
	秋田大学大学院
国立	山形大学
	山形大学大学院
国立	福島大学大学院
国立	茨城大学
	茨城大学大学院
国立	筑波大学
	筑波大学大学院
国立	宇都宮大学
国立	群馬大学
国立	埼玉大学
国立	千葉大学
	千葉大学大学院
国立	東京大学
	東京大学大学院
国立	東京医科歯科大学大学院
国立	東京外国語大学大学院
国立	東京学芸大学
国立	東京農工大学大学院
国立	東京芸術大学大学院
国立	東京工業大学
	東京工業大学大学院
国立	東京海洋大学
国立	お茶の水女子大学
	お茶の水女子大学大学院
国立	電気通信大学
	電気通信大学大学院
国立	一橋大学大学院
国立	横浜国立大学
	横浜国立大学大学院
国立	新潟大学
国立	長岡技術科学大学
	長岡技術科学大学大学院
国立	富山大学
国立	金沢大学
	金沢大学大学院
国立	福井大学
	福井大学大学院
国立	山梨大学
	山梨大学大学院
国立	信州大学
	信州大学大学院
国立	岐阜大学
	岐阜大学大学院
国立	静岡大学
	静岡大学大学院
国立	浜松医科大学
	浜松医科大学大学院
国立	名古屋大学
	名古屋大学大学院
国立	愛知教育大学
国立	名古屋工業大学
	名古屋工業大学大学院
国立	三重大学
	三重大学大学院
国立	滋賀大学
	滋賀大学大学院

設置者区分	大学等名
国立	滋賀医科大学
国立	京都大学大学院
国立	大阪大学大学院
国立	大阪教育大学
国立	神戸大学
	神戸大学大学院
国立	奈良女子大学大学院
国立	和歌山大学
国立	鳥取大学
	鳥取大学大学院
国立	島根大学
	島根大学大学院
国立	岡山大学
	岡山大学大学院
国立	広島大学
	広島大学大学院
国立	山口大学
	山口大学大学院
国立	徳島大学
国立	香川大学
	香川大学大学院
国立	愛媛大学
国立	高知大学
	高知大学大学院
国立	九州大学
	九州大学大学院
国立	九州工業大学
国立	佐賀大学
国立	長崎大学
	長崎大学大学院
国立	熊本大学
	熊本大学大学院
国立	大分大学
	大分大学大学院
国立	宮崎大学
国立	鹿児島大学
	鹿児島大学大学院
国立	鹿児島大学大学院
国立	琉球大学
国立	北陸先端科学技術大学院大学
国立	奈良先端科学技術大学院大学
国立高専	苫小牧工業高等専門学校
国立高専	釧路工業高等専門学校
国立高専	八戸工業高等専門学校
国立高専	一関工業高等専門学校
国立高専	仙台高等専門学校
国立高専	秋田工業高等専門学校
国立高専	鶴岡工業高等専門学校
国立高専	福島工業高等専門学校
国立高専	茨城工業高等専門学校
国立高専	津山工業高等専門学校
国立高専	阿南工業高等専門学校
国立高専	高知工業高等専門学校
国立高専	有明工業高等専門学校
国立高専	北九州工業高等専門学校
公立	宮城大学
公立	秋田公立美術大学大学院
公立	山形県立保健医療大学大学院
公立	山形県立米沢栄養大学大学院
公立	群馬県立県民健康科学大学大学院
公立	首都大学東京
公立	首都大学東京大学院
公立	神奈川県立保健福祉大学大学院
公立	横浜市立大学
	横浜市立大学大学院
公立	新潟県立看護大学大学院
公立	公立小松大学
公立	都留文科大学

設置者区分	大学等名
公立	公立諏訪東京理科大学
公立	長野県立大学
公立	名古屋市立大学
公立	京都府立医科大学大学院
公立	大阪市立大学大学院
公立	大阪府立大学大学院
公立	兵庫県立大学大学院
公立	鳥根県立大学
公立	山陽小野田市立山口東京理科大学
公立	香川県立保健医療大学大学院
公立	高知県立大学大学院
公立	高知工科大学
公立	福岡県立大学大学院
公立	福岡女子大学大学院
私立	札幌学院大学
私立	千歳科学技術大学
私立	日本赤十字北海道看護大学大学院
私立	北海学園大学大学院
私立	北海道医療大学
私立	北海道科学大学
	北海道科学大学大学院
私立	北海道千歳リハビリテーション大学
私立	八戸学院大学
私立	岩手医科大学
私立	岩手保健医療大学
私立	石巻専修大学
私立	尚綱学院大学大学院
私立	仙台大学
私立	東北学院大学
私立	東北福祉大学
私立	東北文化学園大学
私立	東北医科薬科大学
私立	宮城学院女子大学
私立	日本赤十字秋田看護大学大学院
私立	福島学院大学
私立	つくば国際大学
私立	流通経済大学
私立	自治医科大学
私立	共愛学園前橋国際大学
私立	群馬医療福祉大学
私立	群馬パース大学
	群馬パース大学大学院
私立	上武大学
私立	高崎健康福祉大学大学院
私立	高崎商科大学
私立	埼玉医科大学
私立	尚美学園大学
私立	駿河台大学大学院
私立	聖学院大学
私立	平成国際大学
私立	武蔵野学院大学大学院
私立	開智国際大学
私立	城西国際大学
	城西国際大学大学院
私立	聖徳大学大学院
私立	千葉科学大学大学院
私立	千葉工業大学
私立	千葉商科大学
私立	中央学院大学
私立	東京情報大学
私立	和洋女子大学
私立	青山学院大学
私立	亜細亜大学
私立	跡見学園女子大学
私立	桜美林大学
私立	学習院大学
私立	北里大学

設置者区分	大学等名
私立	共立女子大学
	共立女子大学大学院
私立	慶應義塾大学大学院
私立	工学院大学
私立	芝浦工業大学
	芝浦工業大学大学院
私立	社会情報大学院大学
私立	順天堂大学
私立	上智大学大学院
私立	百合女子大学
私立	成蹊大学
私立	聖心女子大学
私立	聖路加国際大学大学院
私立	創価大学
	創価大学大学院
私立	大学院大学至善館
私立	大東文化大学
私立	拓殖大学大学院
私立	多摩美術大学大学院
私立	中央大学
	中央大学大学院
私立	津田塾大学
私立	東京医療保健大学
私立	東京家政学院大学
私立	東京工科大学
私立	東京造形大学大学院
私立	東京電機大学
私立	東京農業大学
	東京農業大学大学院
私立	東京理科大学
	東京理科大学大学院
私立	桐朋学園大学大学院
私立	東邦大学
私立	東洋大学
	東洋大学大学院
私立	二松學舎大学
私立	日本大学
	日本大学大学院
私立	日本医科大学
	日本医科大学大学院
私立	日本獣医生命科学大学
私立	日本女子大学
私立	日本女子体育大学
私立	日本赤十字看護大学大学院
私立	法政大学大学院
私立	武蔵大学
私立	武蔵野音楽大学
私立	武蔵野大学
	武蔵野大学大学院
私立	明治学院大学
私立	明治大学
	明治大学大学院
私立	明星大学
私立	目白大学
私立	立正大学
私立	麻布大学
私立	神奈川歯科大学大学院
私立	神奈川大学大学院
私立	関東学院大学
	関東学院大学大学院
私立	昭和音楽大学
私立	星槎大学大学院
私立	桐蔭横浜大学
私立	東海大学
私立	国際大学大学院

設置者区分	大学等名
私立	新潟医療福祉大学
私立	新潟工科大学
私立	新潟国際情報大学
私立	新潟青陵大学
私立	富山国際大学
私立	金城大学
私立	北陸大学
私立	健康科学大学
私立	清泉学院大学
私立	長野保健医療大学
私立	松本大学
私立	朝日大学
私立	岐阜医療科学大学
私立	岐阜聖徳学園大学
私立	中部学院大学
私立	静岡福祉大学
私立	聖隷クリストファー大学大学院
私立	常葉大学
私立	愛知工業大学
私立	愛知学院大学大学院
私立	桜花学園大学
私立	修文大学
私立	中京大学
	中京大学大学院
私立	中部大学
	中部大学大学院
私立	名古屋外国語大学
私立	名古屋芸術大学
私立	南山大学
	南山大学大学院
私立	日本赤十字豊田看護大学大学院
私立	日本福祉大学
私立	人間環境大学
私立	藤田保健衛生大学大学院
私立	名城大学
	名城大学大学院
私立	聖泉大学大学院
私立	びわこ学院大学
私立	びわこ成蹊スポーツ大学
私立	大谷大学
私立	京都外国語大学
私立	京都華頂大学
私立	京都看護大学大学院
私立	京都産業大学
	京都産業大学大学院
私立	京都造形芸術大学
私立	京都橘大学
	京都橘大学大学院
私立	京都美術工芸大学
私立	嵯峨美術大学
私立	同志社大学
私立	同志社女子大学
	同志社女子大学大学院
私立	明治国際医療大学
私立	立命館大学
	立命館大学大学院
私立	龍谷大学
	龍谷大学大学院
私立	藍野大学
私立	追手門学院大学
	追手門学院大学大学院
私立	大阪経済法科大学
	大阪経済法科大学大学院
私立	大阪工業大学
私立	大阪工業大学大学院

設置者区分	大学等名
私立	大阪国際大学
私立	大阪産業大学
私立	大阪商業大学
私立	大阪成蹊大学
	大阪成蹊大学大学院
私立	大阪電気通信大学
私立	大阪人間科学大学
私立	関西大学大学院
私立	関西医科大学
	関西医科大学大学院
私立	関西医療大学
私立	関西福祉科学大学
私立	近畿大学
	近畿大学大学院
私立	四條畷学園大学
私立	摂南大学大学院
私立	相愛大学大学院
私立	森ノ宮医療大学
	森ノ宮医療大学大学院
私立	大手前大学
私立	関西学院大学
私立	神戸学院大学
私立	神戸芸術工科大学
私立	神戸松蔭女子学院大学
私立	兵庫医科大学
私立	武庫川女子大学
	武庫川女子大学大学院
私立	天理大学大学院
私立	鳥取看護大学
私立	川崎医療福祉大学
私立	環太平洋大学
私立	山陽学園大学
私立	美作大学
私立	日本赤十字広島看護大学大学院
私立	広島工業大学
私立	広島国際大学
私立	広島都市学園大学大学院
私立	梅光学院大学
私立	聖カトリック大学
私立	九州共立大学大学院
私立	九州国際大学
私立	久留米大学
私立	純真学園大学
	純真学園大学大学院
私立	第一薬科大学
私立	中村学園大学
私立	日本経済大学
私立	日本赤十字九州国際看護大学大学院
私立	福岡工業大学
私立	福岡大学
私立	福岡看護大学
私立	西九州大学
	西九州大学大学院
私立	長崎純心大学
私立	立命館アジア太平洋大学
私立短大	郡山女子大学短期大学部
私立短大	茨城女子短期大学
私立短大	作新学院大学女子短期大学部
私立短大	千葉経済大学短期大学部
私立短大	東京歯科大学短期大学
私立短大	小田原短期大学
私立短大	京都経済短期大学
私立短大	大阪健康福祉短期大学
私立短大	姫路日ノ本短期大学
私立短大	西九州大学短期大学部

## 平成30年度 設置計画履行状況等調査結果

※国立大学の「認可又は届出」欄の「意見伺い」は公私立大学における「認可」、「事前伺い」は「届出」に相当する手続き。

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
1	国立	京都工芸繊維大学	事前伺い	30	学部学科設置	工学科学部	デザイン・建築学課程		○ 相手国の学生も履修する一部の科目のシラバスが日本語のみになっており、相手国の学生が科目選択をする際に支障をきたしているため、全てのシラバスについて、少なくとも日本語と英語で作成すること。併せて、シラバスの授業計画項目の記載については、各回の内容が分かるよう適切に改めること。（工学科学研究科京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻（M））	指摘事項（是正）
		京都工芸繊維大学大学院	意見伺い	29	専攻設置又は課程変更	工学科学研究科	京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻（M）		○ 講義等においては、留学生の学修効果・成果の向上のため、英文の配付資料や説明資料等の活用・充実に努めるとともに、その内容を事前に学生に対して共有し、事前学修が行えるよう配慮に努めること。（工学科学研究科京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻（M））  ○ 授業科目の評価基準については、シラバス等にあらかじめ明示されているものの、一部の授業科目において評価基準が学生にとって分かりにくいものとなっているため、分かりやすい明示に努めること。（工学科学研究科京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻（M））  ○ 入学定員超過の改善に努めること。（工学科学部デザイン・建築学課程）	指摘事項（改善）  指摘事項（改善）  指摘事項（改善）
2	公立	敦賀市立看護大学大学院	認可	30	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（看護学研究科看護学専攻（M））	指摘事項（改善）
3	公立	長崎県立大学	届出	28	学部設置	国際社会学部	国際社会学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているにもかかわらず、補充の検討もなされていない。教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保すること。（国際社会学部国際社会学科）	指摘事項（是正）
4	私立	札幌保健医療大学	認可	29	学部学科設置	保健医療学部	栄養学科		○ 平均入学定員充足率が0.29倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。（保健医療学部栄養学科）  ○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（保健医療学部栄養学科）	指摘事項（是正）  指摘事項（改善）
5	私立	日本医療大学	認可	28	学部学科設置	保健医療学部	診療放射線学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（保健医療学部診療放射線学科）	指摘事項（改善）
6	私立	北海道文教大学大学院	認可	29	研究科設置	こども発達学研究科	こども発達学専攻（M）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（こども発達学研究科こども発達学専攻（M））	指摘事項（改善）
7	私立	東北芸術工科大学	認可	30	収容定員学則変更	芸術学部	文化財保存修復学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。（芸術学部歴史遺産学科）	指摘事項（改善）
							歴史遺産学科			
							美術科			
							文芸学科			

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
						デザイン工学部	プロダクトデザイン学科 建築・環境デザイン学科 グラフィックデザイン学科 映像学科 企画構想学科			
8	私立	いわき明星大学	届出	27	学部設置	教養学部	地域教養学科		○ 専任教員数が認可時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(看護学部看護学科)	指摘事項 (改善)
			認可	29	学部設置	看護学部	看護学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(教養学部地域教養学科)	指摘事項 (改善)
9	私立	常磐大学	届出	29	学部設置	総合政策学部	経営学科 法律行政学科 総合政策学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(総合政策学部法律行政学科)	指摘事項 (改善)
10	私立	日本ウェルネススポーツ大学	認可	24	大学設置	スポーツプロモーション学部	スポーツプロモーション学科(通信教育課程)		○ 資格取得に係る取り組みがアシスタントマネージャー養成科目の設定のみに留まり、不十分なため、スポーツコーディネーターとして活躍するために有益となる様々な資格取得に向けた学生へのきめ細やかな履修指導に努めること。(スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科)	指摘事項 (改善)
			認可	30	学部設置	スポーツプロモーション学部	スポーツプロモーション学科		○ 通学課程と通信教育課程の情報が混在した「大学案内」が受験生等に配付されているが、正しい理解に基づき学生が入学できるよう、両課程に関する適切な情報の掲載に努めること。(スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科)	指摘事項 (改善)
									○ 設置計画で示された学生による授業評価の実施が、一部の科目のみに留まっている。FD活動が充実されるよう、全ての科目で学生による授業評価が実施できるよう努めること。(スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科)	指摘事項 (改善)
									○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科(通信教育課程))	指摘事項 (改善)
									○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科)	指摘事項 (改善)
11	私立	国際医療福祉大学	届出	28	学部設置	成田保健医療学部	理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 医学検査学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(成田保健医療学部理学療法学科)	指摘事項 (改善)
									○ 学生の履修指導に活用している履修系統図が学科間で記載方法が異なるため、学生が混乱しないよう学部として記載方法の統一に努めること。(成田保健医療学部理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科)	指摘事項 (改善)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
12	私立	作新学院大学	届出	30	学部学科設置	人間文化学部	発達教育学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(人間文化学部発達教育学科) 指摘事項(改善)	
13	私立	育英大学	認可	30	大学設置	教育学部	教育学科	児童教育専攻	○ 入学定員未充足の改善に努めること。(教育学部教育学科) 指摘事項(改善)	
								スポーツ教育専攻	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部教育学科) 指摘事項(改善)	
14	私立	東京福祉大学	届出	30	学部設置	保育児童学部	保育児童学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(保育児童学部保育児童学科) 指摘事項(改善)	
							保育児童学科(通信教育課程)			
15	私立	浦和大学	届出	29	学部学科設置	こども学部	学校教育学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(こども学部学校教育学科) 指摘事項(改善)	
16	私立	埼玉学園大学	届出	25	学部設置	経済経営学部	経済経営学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(経済経営学部経済経営学科) 指摘事項(改善)	
		埼玉学園大学大学院	認可	25	専攻設置又は課程変更	経営学研究科	経営学専攻(D)			○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(経営学研究科経営学専攻(D)) 指摘事項(改善)
17	私立	埼玉工業大学大学院	届出	30	専攻設置又は課程変更	工学研究科	機械工学専攻(M)	○ 埼玉工業大学の既設学部等(工学部情報システム学科)の入学定員超過の改善に努めること。 指摘事項(改善)		
							機械工学専攻(D)			
							情報システム専攻(M)			
							情報システム専攻(D)			
							生命環境化学専攻(M)			
							生命環境化学専攻(D)			
18	私立	十文字学園女子大学	届出	27	学部学科設置	人間生活学部	人間福祉学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(人間生活学部人間福祉学科) 指摘事項(改善)	
19	私立	東都医療大学	認可	30	学部設置	管理栄養学部	管理栄養学科		○ 学生が講義後に図書館を利用して学修を行えるよう開館時間の配慮に努めること。(幕張ヒューマンケア学部看護学科) 指摘事項(改善)	
			届出	30	学部設置	幕張ヒューマンケア学部	看護学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(管理栄養学部管理栄養学科) 指摘事項(改善)	
20	私立	日本工業大学	届出	30	学部設置	基幹工学部	機械工学科	○ 入学定員未充足の改善に努めること。(基幹工学部応用化学科) 指摘事項(改善)		
							電気電子通信工学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。(先進工学部情報メディア工学科) 指摘事項(改善)	
							応用化学科			
							先進工学部			ロボティクス学科
							情報メディア工学科			

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項
21	私立	日本保健医療大学	認可	29	学部学科設置	保健医療学部	理学療法学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(保健医療学部理学療法学科) 指摘事項(改善)
22	私立	人間総合科学大学	届出	29	学部学科設置	人間科学部	ヘルスフードサイエンス学科		○ 平均入学定員充足率が0.12倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科) 指摘事項(是正) ○ 休講や授業時間の変更連絡が、変更当日に学内の掲示板で掲示されるのみで学生の履修に支障が生じている。休講や授業時間の変更の際は、期間に余裕をもって周知するとともに、急な変更時は速やかに学内ホームページやメール等を活用すること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科) 指摘事項(改善) ○ 教員のオフィスアワーが学生に適切に周知されていないため改善すること。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科) 指摘事項(改善) ○ 成績評価に対する学生からの不服申し立て制度を整備した上で、学生に周知することが望ましい。(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科) 指摘事項(改善)
23	私立	文教大学	届出	29	学部学科設置	文学部	外国語学科		○ 文教大学の既設学部等(文学部中国語中国文学科)の入学定員超過の改善に努めること。 指摘事項(改善)
24	私立	秀明大学	認可	29	学部設置	看護学部	看護学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(看護学部看護学科) 指摘事項(改善)
25	私立	麗澤大学大学院	認可	30	研究科設置	学校教育研究科	道徳教育専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(学校教育研究科道徳教育専攻(M)) 指摘事項(改善)
26	私立	杏林大学	届出	30	学部学科設置	保健学部	臨床心理学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(保健学部臨床心理学科) 指摘事項(改善)
27	私立	駒沢女子大学	届出	30	学部設置	人間総合学群	人間文化学類 観光文化学類 心理学類 住空間デザイン学類		○ 入学定員超過の改善に努めること。(人間総合学群心理学類) 指摘事項(改善)
28	私立	昭和女子大学	届出	29	学部設置	国際学部	英語コミュニケーション学科 国際学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(国際学部国際学科) 指摘事項(改善) ○ 担当教員の退任等を理由に科目を未開講・廃止とし、代替科目を設定しているが、一部の科目で代替科目が設定されておらず、教育の質の低下が危惧されるため、速やかに設定するとともに、代替科目に関する学生への周知を充実すること。(国際学部英語コミュニケーション学科、国際学科、生活科学部食安全マネジメント学科) 指摘事項(改善)
			届出	29	学部学科設置	生活科学部	食安全マネジメント学科		
29	私立	杉野服飾大学	届出	30	学部学科設置	服飾学部	服飾表現学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(服飾学部服飾表現学科) 指摘事項(改善)
30	私立	大正大学	認可	28	学部設置	地域創生学部	地域創生学科		○ 地域実習を今後も継続させるために、統括責任者である教務主任等の特定個人に過度に業務負担が集中することなく、組織として安定して運用できる体制の整備に努めること。(地域創生学部地域創生学科) 指摘事項(改善)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項		
31	私立	玉川大学	届出	27	学部学科設置	文学部	英語教育学科		○ 玉川大学の既設学部等（工学部ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	
						工学部	エンジニアリングデザイン学科				
				届出	29	学部学科設置	工学部	情報通信工学科			
							農学部	先端食農学科			
								生産農学科			
文学部	国語教育学科										
32	私立	帝京大学大学院	届出	24	専攻設置又は課程変更	文学研究科	日本史・文化財学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（文学研究科日本史・文化財学専攻(D)）	指摘事項 (改善)	
33	私立	帝京科学大学	認可	28	学部学科設置	医療科学部	医療福祉学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。（医療科学部医療福祉学科）	指摘事項 (改善)	
34	私立	帝京平成大学	届出	25	学部学科設置	現代ライフ学部	観光経営学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（現代ライフ学部観光経営学科）	指摘事項 (改善)	
35	私立	東京医療学院大学	認可	28	学部学科設置	保健医療学部	看護学科		○ 専任教員数が認可時の計画から減少している専攻分野がある。このため、学外実習において専門分野以外の教員が学生指導の補助を行うほか、学期の途中で授業の開講日時が突然変更されるなど、教育課程が適切に運営されていないため、専任教員の補充や実習補助者の導入を行うなど、教育課程の実施に必要な体制を確保すること。（保健医療学部看護学科）	指摘事項 (是正)	
36	私立	東京家政大学	認可	30	学部学科設置	健康科学部	リハビリテーション学科	作業療法学専攻	○ 入学定員未充足の改善に努めること。（健康科学部リハビリテーション学科）	指摘事項 (改善)	
								理学療法学専攻			
37	私立	東京純心大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 専任教員数が認可時の計画から減少し、速やかに補充もなされなかったため、学外実習において専門分野以外の教員が巡回指導を行うほか、学期の途中で授業の担当教員や開講日時が突然変更されるなど、教育課程が適切に運営されていない。設置計画に示されている専任教員数の確保や実習補助者の導入を行うなど、教育課程の実施に必要な体制を確保すること。なお、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。（看護学部看護学科）	指摘事項 (是正)	
38	私立	東京女子大学	届出	30	学部学科設置	現代教養学部	国際英語学科		○ 東京女子大学の既設学部等（現代教養学部国際社会学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	
								心理・コミュニケーション学科			
39	私立	東京通信大学	認可	30	大学設置	情報マネジメント学部	情報マネジメント学科（通信教育課程）		○ 学生アンケートにおいて必修科目である「初級プログラミングI」、「初級プログラミングII」の授業評価が低いほか、「初級プログラミングI」は単位認定試験の合格者が約3割に留まっているため、授業内容等を検証した上で、学生の理解が深まるよう授業内容の改善に努めること。（情報マネジメント学部情報マネジメント学科（通信教育課程））	指摘事項 (改善)	
						人間福祉学部	人間福祉学科（通信教育課程）				○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（人間福祉学部人間福祉学科（通信教育課程））

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
40	私立	日本体育大学大学院	認可	29	研究科設置	教育学研究科	実践教科教育学専攻（M）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（教育学研究科実践教科教育学専攻（M））	指摘事項（改善）
							実践教科教育学専攻（D）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（教育学研究科実践教科教育学専攻（D））	指摘事項（改善）
41	私立	早稲田大学大学院	届出	29	専攻設置又は課程変更	教育学研究科	高度教職実践専攻（P）		○ ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身に付けた人材の育成に努めつつ、広報活動や学内奨学金制度の更なる充実、教育委員会との連携等による教職大学院に進学するインセンティブの向上等を通じて、入学定員充足率の改善に努めること。（教育学研究科高度教職実践専攻（P））	指摘事項（改善）
42	私立	神奈川工科大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 認可時の計画から公衆衛生及び在宅看護分野をはじめとして専任教員数が減少しているため、授業、学生指導などの教育の質の低下が危惧されるとともに、多くの教員が辞任するなど（4年間で延べ17名）し、入れ替わりが生じることによる学生の混乱も生じている。設置計画に示されている専任教員数を確実に補充するほか、教員の定着率の向上に努めること。なお、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。（看護学部看護学科）	指摘事項（是正）
43	私立	松蔭大学	届出	24	学部学科設置	経営文化学部	経営法学科		○ 平均入学定員充足率が0.27倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。（経営文化学部経営法学科）	指摘事項（是正）
				25	学部学科設置	経営文化学部	金融経済学科		○ 平均入学定員充足率が0.12倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。（経営文化学部金融経済学科）	指摘事項（是正）
			認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 「卒業演習」について、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の教育課程として配置しているが、シラバスの授業目標の一部に掲げられている「国家試験を見据えて試験方式で知識・技術のエビデンスを自己評価できる」との内容は、授業目標の設定として不適切であるため、是正すること。（看護学部看護学科）	指摘事項（是正）
			認可	29	学部学科設置	コミュニケーション文化学部	子ども学科		○ 平均入学定員充足率が0.20倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。（コミュニケーション文化学部子ども学科）	指摘事項（是正）
								○ 退学や留年となる学生に対する対応策を確実に実施し、学修指導体制を充実すること。（看護学部看護学科）	指摘事項（改善）	
								○ 入学定員未充足の改善に努めること。（看護学部看護学科）	指摘事項（改善）	
								○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（経営文化学部経営法学科）	指摘事項（改善）	

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
									○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(経営文化学部金融経済学科)	指摘事項 (改善)
44	私立	湘南医療大学	認可	27	大学設置	保健医療学部	看護学科		○ 入学定員を超過して学生を受入れたことにより、講義室等が学生数の規模に対して手狭になっている懸念があることから、適切な定員管理に努めるとともに、学生の学修環境の改善に努めること。(保健医療学部看護学科)	指摘事項 (改善)
							リハビリテーション学科	理学療法学専攻	○ 図書館に設置された文献検索用パソコンが数台に限られており、学修への支障が懸念されることから、台数の増加や、学内無線ネットワークの整備など、学修環境の向上に努めること。(保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科)	指摘事項 (改善)
								作業療法学専攻	○ 学生の就職活動を組織的に支援する体制が整備されていないため、適切な体制の整備に努めること。(保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科)	指摘事項 (改善)
									○ 学生からの授業アンケートの結果や教職員・学生からの意見・要望などを大学全体で情報共有できる仕組みが整備されていないため、適切に周知ができるよう努めること。(保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科)	指摘事項 (改善)
45	私立	鶴見大学大学院	届出	30	専攻設置又は課程変更	文学研究科	ドキュメンテーション専攻(M)		○ 鶴見大学の既設学部等(文学部日本文化学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
							ドキュメンテーション専攻(D)			
46	私立	横浜商科大学	届出	27	学部学科設置	商学部	観光マネジメント学科		○ 横浜商科大学の既設学部等(商学部商学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
47	私立	横浜創英大学	認可	24	大学設置	看護学部	看護学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(こども教育学部幼児教育学科)	指摘事項 (改善)
						こども教育学部	幼児教育学科			
48	私立	横浜薬科大学	届出	27	学部学科設置	薬学部	薬科学科		○ 完成年度にもかかわらず専任教員数が届出時の計画から減少している。提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(薬学部薬科学科)	指摘事項 (改善)
49	私立	新潟経営大学	届出	28	学部設置	観光経営学部	観光経営学科		○ 平均入学定員充足率が0.29倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。(観光経営学部観光経営学科)	指摘事項 (是正)
50	私立	新潟食料農業大学	認可	30	大学設置	食料産業学部	食料産業学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(食料産業学部食料産業学科)	指摘事項 (改善)
51	私立	新潟薬科大学	届出	27	学部学科設置	応用生命科学部	生命産業創造学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(応用生命科学部生命産業創造学科)	指摘事項 (改善)
52	私立	高岡法科大学	届出	28	学部学科設置	法学部	法学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(法学部法学科)	指摘事項 (改善)
53	私立	金沢学院大学	認可	30	学部学科設置	文学部	教育学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)
54	私立	金沢工業大学	届出	30	学部設置	建築学部	建築学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(建築学部建築学科)	指摘事項 (改善)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
			届出	30	学部学科設置	工学部	環境土木工学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(工学部環境土木工学科)	指摘事項 (改善)
55	私立	金沢星稜大学	認可	28	学部設置	人文学部	国際文化学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(人文学部国際文化学科)	指摘事項 (改善)
56	私立	福井医療大学	認可	29	大学設置	保健医療学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(保健医療学部看護学科)	指摘事項 (改善)
								作業療法学専攻		
								言語聴覚学専攻		
								看護学科		
57	私立	福井工業大学	認可	27	学部設置	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(環境情報学部デザイン学科)	指摘事項 (改善)
			届出	27	学部設置	環境情報学部	環境・食品科学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。(環境情報学部経営情報学科)	指摘事項 (改善)
								経営情報学科	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科)	指摘事項 (改善)
								デザイン学科	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(工学研究科応用理工学専攻(M))	指摘事項 (改善)
		福井工業大学大学院	届出	24	専攻設置又は課程変更	工学研究科	応用理工学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(工学研究科応用理工学専攻(D))	指摘事項 (改善)
								応用理工学専攻(D)	○ 福井工業大学の既設学部等(工学部建築土木工学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
58	私立	山梨学院大学	認可	27	学部設置	国際リベラルアーツ学部	国際リベラルアーツ学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科)	指摘事項 (改善)
59	私立	静岡理工科大学	届出	29	学部学科設置	理工学部	建築学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。(理工学部建築学科)	指摘事項 (改善)
60	私立	愛知大学	届出	30	学部学科設置	文学部	心理学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(文学部心理学科)	指摘事項 (改善)
61	私立	愛知淑徳大学	届出	30	学部学科設置	文学部	総合英語学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。(文学部総合英語学科)	指摘事項 (改善)
62	私立	愛知東邦大学	届出	28	学部学科設置	経営学部	国際ビジネス学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(経営学部国際ビジネス学科)	指摘事項 (改善)
63	私立	一宮研伸大学	認可	29	大学設置	看護学部	看護学科		○ 学長を補佐する役職者を設けるなど大学組織が適切に機能する取組に努めること。(看護学部看護学科)	指摘事項 (改善)
64	私立	東海学園大学	届出	30	学部設置	心理学部	心理学科		○ 東海学園大学の既設学部等(人文学部人文学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
65	私立	名古屋学院大学	認可	27	学部学科設置	スポーツ健康学部	こどもスポーツ教育学科		<p>○ 完成年度にもかかわらず専任教員数が認可時の計画から減少している。提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。(スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科)</p> <p>○ 入学定員未充足の改善に努めること。(スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
66	私立	名古屋芸大	認可	30	学部設置	看護学部	看護学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(看護学部看護学科)</p>	指摘事項 (改善)
67	私立	鈴鹿大学	届出	27	学部設置	国際人間科学部	国際学科		<p>○ 学生数が定員を大きく超過(平成30年度:1.29倍)している。また、多くの留学生(平成30年度:129名中89名)を受入れている一方で、留学生を中心として多数の退学者(平成29年度:計41名、うち留学生は29名)が生じている。学生数を収容定員に基づき、適正に管理するとともに、学生数の確保という観点で安易に留学生等を受入れることなく、入学志願者の能力・適性等を適切に判定するよう是正するほか、入学後の学生の学修指導や学生支援の充実に取り組むこと。(国際人間科学部国際学科)</p>	指摘事項 (是正)
			認可	29	学部設置	こども教育学部	こども教育学科	幼児教育学専攻 養護教育学専攻		<p>○ 平均入学定員充足率が0.27倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。(こども教育学部こども教育学科)</p>
68	私立	京都学園大学	認可	27	学部設置	健康医療学部	看護学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(健康医療学部健康スポーツ学科)</p>	指摘事項 (改善)
							言語聴覚学科			
							健康スポーツ学科			
69	私立	京都光華女子大学	届出	26	学部学科設置	健康科学部	心理学科		<p>○ 入学定員未充足の改善に努めること。(健康科学部心理学科)</p>	指摘事項 (改善)
70	私立	京都精華大学	届出	29	学部学科設置	芸術学部	造形学科		<p>○ 入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部造形学科)</p>	指摘事項 (改善)
71	私立	京都ノートルダム女子大学	認可	29	学部設置	現代人間学部	福祉生活デザイン学科		<p>○ 入学定員未充足の改善に努めること。(現代人間学部福祉生活デザイン学科)</p>	指摘事項 (改善)
							心理学科		<p>○ 入学定員未充足の改善に努めること。(現代人間学部心理学科)</p>	
							こども教育学科			
72	私立	大阪青山大学	認可	27	学部学科設置	健康科学部	看護学科		<p>○ 複数の実習科目において、助手の未配置や大幅な減少が生じており、教育の質の低下が危惧される。設置計画で示されている助手数を確保し、実習に必要な指導体制の整備に努めること。(健康科学部看護学科)</p>	指摘事項 (改善)
73	私立	大阪芸術大学	届出	29	学部学科設置	芸術学部	アートサイエンス学科		<p>○ 大阪芸術大学の既設学部等(芸術学部建築学科、写真学科、映像学科)の入学定員超過の改善に努めること。</p>	指摘事項 (改善)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項		
74	私立	大阪歯科大学	認可	29	学部設置	医療保健学部	口腔保健学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(医療保健学部口腔工学科)	指摘事項 (改善)	
							口腔工学科				
75	私立	大阪樟蔭女子大学	届出	27	学部設置	健康栄養学部	健康栄養学科		○ 大阪樟蔭女子大学の既設学部等(学芸学部ライブラリー学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	
			届出	27	学部学科設置	学芸学部	心理学科				
76	私立	大阪体育大学	認可	27	学部設置	教育学部	教育学科	小学校教育コース	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部教育学科)	指摘事項 (改善)	
								保健体育教育コース			
77	私立	帝塚山学院大学	届出	27	学部学科設置	人間科学部	キャリア英語学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(人間科学部キャリア英語学科)	指摘事項 (改善)	
78	私立	梅花女子大学	届出	29	学部学科設置	食文化学部	管理栄養学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているにもかかわらず、補充の検討もなされていない。教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保すること。(食文化学部管理栄養学科)	指摘事項 (是正)	
79	私立	大和大学	認可	26	大学設置	教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	○ 教員選考の客観性及び厳格性が不十分と考えられ、授業、学生指導など教育の質の低下が危惧される。教員選考の客観性及び厳格性を確保するために審査の基準やプロセスを是正するとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。(教育学部教育学科、保健医療学部看護学科、総合リハビリテーション学科)	指摘事項 (是正)	
								国語教育専攻			
								数学教育専攻			
								英語教育専攻			
								保健医療学部			看護学科
								総合リハビリテーション学科			理学療法専攻
	作業療法専攻										
	言語聴覚専攻										
80	私立	関西福祉大学	届出	30	学部学科設置	教育学部	保健教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部保健教育学科)	指摘事項 (改善)	
		関西福祉大学大学院	認可	29	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)	
			認可	30	研究科設置	教育学研究科	児童教育学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学研究科児童教育学専攻(M))	指摘事項 (改善)	

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
81	私立	甲南女子大学	認可	30	学部設置	医療栄養学部	医療栄養学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（医療栄養学部医療栄養学科）	指摘事項 (改善)
		甲南女子大学大学院	認可	30	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（看護学研究科看護学専攻(D)）	指摘事項 (改善)
82	私立	神戸女子大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 神戸女子大学の既設学部等（文学部国際教養学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
83	私立	神戸山手大学	届出	27	学部学科設置	現代社会学部	観光文化学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているにもかかわらず、補充の検討もなされていない。教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保すること。（現代社会学部観光文化学科）	指摘事項 (是正)
									○ 「キャリアプランニング(1)、A、B、C」の到達目標が就職対策に向けた設定となっており、卒業要件単位に含める授業科目としてふさわしくないため、是正すること。（現代社会学部観光文化学科）	指摘事項 (是正)
									○ 入学定員未充足の改善に努めること。（現代社会学部観光文化学科）	指摘事項 (改善)
84	私立	姫路大学大学院	認可	29	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（看護学研究科看護学専攻(M)）	指摘事項 (改善)
85	私立	姫路獨協大学	届出	28	学部設置	人間社会学群	国際言語文化学類		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しており、専任教員が担当することとしていた行政法・労働法に関する科目を兼任教員が担当しているなど、教育の質の低下が危惧される。提示された教員の採用計画を確実に履行するとともに教員配置の充実に努めること。（人間社会学群現代法律学類）	指摘事項 (改善)
							現代法律学類		○ 入学定員未充足の改善に努めること。（人間社会学群国際言語文化学類）	指摘事項 (改善)
							産業経営学類		○ 入学定員未充足の改善に努めること。（人間社会学群現代法律学類）	指摘事項 (改善)
								○ 入学定員未充足の改善に努めること。（人間社会学群産業経営学類）	指摘事項 (改善)	
86	私立	兵庫大学	届出	28	学部設置	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。（現代ビジネス学部現代ビジネス学科）	指摘事項 (改善)
87	私立	流通科学大学	届出	27	学部設置	人間社会学部	人間社会学科		○ 専任教員数が届出時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。（人間社会学部人間健康学科）	指摘事項 (改善)
							観光学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。（人間社会学部人間健康学科）	指摘事項 (改善)
							人間健康学科			
88	私立	帝塚山大学	届出	30	学部設置	経済経営学部	経済経営学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。（経済経営学部経済経営学科）	指摘事項 (改善)
								○ 帝塚山大学の既設学部等（現代生活学部居住空間デザイン学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
89	私立	奈良学園大学 大学院	認可	30	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻 (M)		○ 専任教員数が認可時の計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(看護学研究科看護学専攻(M))	指摘事項 (改善)
90	私立	高野山大学	届出	27	学部学科設置	文学部	人間学科		○ 平均入学定員充足率が0.30倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。(文学部人間学科)  ○ 「キャリアカウンセリングⅥ」において、シラバスの授業計画に「履歴書の作成」や「エントリーシートの作成」など、本科目の到達目標に掲げた生涯にわたるキャリア形成に必要な意欲・態度を身に付けることは整合してない計画が含まれているため改善すること。(文学部人間学科)	指摘事項 (是正)  指摘事項 (改善)
91	私立	岡山理科大学	認可	30	学部設置	獣医学部	獣医学科		○ 認可された設置計画から教授数に不足が生じ、大学設置基準が定める完成年度における教授数を確保できていないため、提示された教員の採用計画を確実に履行すること。(獣医学部獣医保健看護学科)	指摘事項 (改善)
							獣医保健看護学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(獣医学部獣医保健看護学科)  ○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(獣医学部獣医学科)	指摘事項 (改善)  指摘事項 (改善)
92	私立	吉備国際大学	届出	26	学部設置	外国語学部	外国学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(外国語学部外国学科)	指摘事項 (改善)
							アニメーション文化学部	アニメーション文化学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(アニメーション文化学部アニメーション文化学科)
			届出	30	学部学科設置	農学部	醸造学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(農学部醸造学科)	指摘事項 (改善)
		吉備国際大学 大学院	認可	29	研究科設置	地域創成農学研究科	地域創成農学 専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(農学部醸造学科)  ○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(地域創成農学研究科地域創成農学専攻(M))	指摘事項 (改善)  指摘事項 (改善)
93	私立	倉敷芸術科学 大学	届出	29	学部設置	危機管理学部	危機管理学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(危機管理学部危機管理学科)	指摘事項 (改善)
94	私立	中国学園大学	認可	27	学部設置	国際教養学部	国際教養学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(国際教養学部国際教養学科)	指摘事項 (改善)
95	私立	広島修道大学	認可	29	学部設置	健康科学部	心理学科		○ 本学科の特色となる「活動推進学期」(2年次3学期)に関する学生への履修指導が十分に実施されておらず、設定された「海外セミナー」、「地域援助実践体験」及び「心理学とキャリア形成」のいずれも履修しない学生が多数生じているほか、受入先の充実等に向けた取り組みも不十分である。これらの状況は、設置計画及び認可時の留意事項の不履行であるため、提示された改善方針を確実に履行し、教育の質の向上に努めること。(健康科学部心理学科)	指摘事項 (是正)
							健康栄養学科		○ 「海外セミナー」によって海外大学で取得した単位の認定方法が適切でないため、是正すること。(健康科学部心理学科)	指摘事項 (是正)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項					
96	私立	広島女学院大学	届出	30	学部設置	人文学部	国際英語学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。(人文学部国際英語学科)	指摘事項 (改善)				
							日本文化学科		○ 入学定員超過の改善に努めること。(人間生活学部生活デザイン学科)	指摘事項 (改善)				
			届出	30	学部学科設置	人間生活学部	生活デザイン学科							
97	私立	広島文化学園大学	認可	30	学部設置	人間健康学部	スポーツ健康福祉学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(人間健康学部スポーツ健康福祉学科)	指摘事項 (改善)				
		広島文化学園大学大学院	認可	24	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)				
			認可	28	専攻設置又は課程変更	教育学研究科	子ども学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学研究科子ども学専攻(D))	指摘事項 (改善)				
98	私立	安田女子大学	届出	24	学部設置	教育学部	児童教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部児童教育学科)	指摘事項 (改善)				
			届出	27	学部学科設置	現代ビジネス学部	国際観光ビジネス学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科)	指摘事項 (改善)				
		安田女子大学大学院	認可	30	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(看護学研究科看護学専攻(M))	指摘事項 (改善)				
							看護学専攻(D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)				
99	私立	徳島文理大学	届出	29	学部学科設置	保健福祉学部	口腔保健学科		○ 完成年度にもかかわらず専任教員数が認可時の計画から減少している。提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)				
		徳島文理大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(保健福祉学部口腔保健学科)  ○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(看護学研究科看護学専攻(D))	指摘事項 (改善)  指摘事項 (改善)				
100	私立	九州産業大学	届出	28	学部学科設置	芸術学部	生活環境デザイン学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部生活環境デザイン学科)	指摘事項 (改善)				
							ソーシャルデザイン学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部ソーシャルデザイン学科)	指摘事項 (改善)				
							認可	30	学部設置	人間科学部	臨床心理学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(人間科学部子ども教育学科)	指摘事項 (改善)
											子ども教育学科			
				スポーツ健康科学科										

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
101	私立	産業医科大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	医学研究科	産業衛生学専攻(D)		○ 専任教員数が認可時の計画から減少していることに加えて、入学定員を超過して学生を受け入れているため、教育の質の低下が危惧される。設置計画に示されている専任教員数の確保や入学定員超過の改善に努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。(医学研究科産業衛生学専攻(D))	指摘事項 (改善)
102	私立	筑紫女学園大学	届出	27	学部設置	現代社会学部	現代社会学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(現代社会学部現代社会学科)	指摘事項 (改善)
103	私立	尚綱大学	届出	30	学部設置	現代文化学部	文化コミュニケーション学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(現代文化学部文化コミュニケーション学科)	指摘事項 (改善)
104	私立	九州保健福祉大学	届出	27	学部設置	生命医科学部	生命医科学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(生命医科学部生命医科学科)	指摘事項 (改善)
105	私立	宮崎国際大学	認可	26	学部設置	教育学部	児童教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(教育学部児童教育学科)	指摘事項 (改善)
106	私立	第一工業大学	届出	23	学部学科設置	工学部	航空工学科		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(工学部航空工学科)	指摘事項 (改善)
									○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(工学部航空工学科)	指摘事項 (改善)
107	私立短大	青森明の星短期大学	届出	26	短大学科設置	子ども福祉未来学科	保育専攻		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(子ども福祉未来学科保育専攻)	指摘事項 (改善)
							コミュニティ福祉専攻		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(子ども福祉未来学科コミュニティ福祉専攻)	指摘事項 (改善)
108	私立短大	仙台赤門短期大学	認可	30	短期大学設置	看護学科			○ 専任教員数及び助手数が認可時の計画から減少しているため、提示された教員等の採用計画を確実に履行するよう努めること。(看護学科)	指摘事項 (改善)
									○ 「小児看護学実習Ⅰ」、「小児看護学実習Ⅱ」について、科目の体系的観点を含めた教育効果がシラバスで明示されていないため記載の充実に努めること。(看護学科)	指摘事項 (改善)
									○ 図書館の開館時間が短く、学生が利用できる時間が限られているなど、教育研究活動を行う上で、不十分な図書館の運営体制となっている。開館時間の見直しや専門的職員の配置の充実など、本学の教育研究が促進されるよう図書館の運営体制の改善に努めること。(看護学科)	指摘事項 (改善)
109	私立短大	東京経営短期大学	認可	29	短大学科設置	こども教育学科			○ 入学者選抜について、大学入学者選抜実施要項で推薦入試の募集人員は入学定員の5割を超えない範囲において定められているところ、本学の平成31年度の募集要項では入学定員の5割を超える推薦入試の募集人員の設定となっている。さらに、実際の合格者についてもほとんどが募集人員を超えるAO入試による状況となっており、その合理的な理由も認められない。このため、大学入学者選抜実施要項も踏まえて本学が自ら定める募集人員を設定し、それに即した適切な入学者選抜を行うよう是正すること。(こども教育学科)	指摘事項 (是正)
									○ 入学定員未充足の改善に努めること。(こども教育学科)	指摘事項 (改善)

No.	設置者区分	大学等名	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
110	私立短大	山野美容芸術短期大学	認可	30	収容定員学則変更	美容総合学科	国際美容コミュニケーション専攻		○ 平均入学定員超過率が3.24倍と著しく高い。同一学科には入学定員充足率が低い専攻があるが、専攻を単位として定員管理が適切に実施されていないため、学科内の入学定員の設定の見直しも検討しつつ、是正すること。(美容総合学科国際美容コミュニケーション専攻)	指摘事項 (是正)
111	私立短大	金沢学院短期大学	届出	28	短大学科設置	現代教養学科			○ 入学定員未充足の改善に努めること。(現代教養学科)	指摘事項 (改善)
			認可	30	短大学科設置	幼児教育学科			○ 入学定員未充足の改善に努めること。(幼児教育学科)	指摘事項 (改善)
112	私立短大	愛知みずほ短期大学	認可	30	短大学科設置	現代幼児教育学科			○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。(現代幼児教育学科)	指摘事項 (改善)
113	私立短大	名古屋女子大学短期大学部	認可	30	収容定員学則変更	保育学科	第一部		○ 入学定員未充足の改善に努めること。(保育学科第一部)	指摘事項 (改善)
							第三部			
							生活学科			
114	私立短大	ユマニテク短期大学	認可	29	短期大学設置	幼児保育学科			○ 規定された3つのポリシーの内容が不十分なため、法令等を踏まえて適切に修正すること。(幼児保育学科)	指摘事項 (改善)
								○ 平均入学定員充足率が低いため、学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員の見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。(幼児保育学科)	指摘事項 (改善)	
115	私立短大	池坊短期大学	認可	28	短大学科設置	幼児保育学科			○ 入学定員未充足の改善に努めること。(幼児保育学科)	指摘事項 (改善)
116	私立短大	東大阪大学短期大学部	認可	30	短大学科設置	介護福祉学科			○ 留学生選抜入試について、抽象的な評価項目により学生選抜が実施されており、日本語能力を的確に判定できるものとなっていないほか、平成30年4月に入学した全81名の入学者のうち日本人学生は1名のみで、他は全て外国人留学生等となっている。これらの状況は、設置計画及び認可時の留意事項の不履行であるとともに、学生数の確保という観点で安易に留学生等を受入れているものであるため、是正すること。(介護福祉学科)	指摘事項 (是正)
									○ 複数の科目の定期試験について、シラバスで明示された到達目標を確認する内容になっていないものや、大学教育の水準に照らしてふさわしくない内容のものがあつた。また、多くの科目のシラバスで事前・事後学修が明示されていないものもあつた。これらについて、是正すること。(介護福祉学科)	指摘事項 (是正)
									○ 留学生一人ひとりへの日本語能力の向上を含む学修面や生活面の支援が十分に実施されているとは認められないため、改善すること。(介護福祉学科)	指摘事項 (改善)
117	私立短大	佐賀女子短期大学	届出	29	短大学科設置	地域みらい学科			○ 入学定員未充足の改善に努めること。(地域みらい学科)	指摘事項 (改善)
118	私立高専	国際高等専門学校	届出	30	高専学科設置	国際理工学科			○ 入学定員未充足の改善に努めること。(国際理工学科)	指摘事項 (改善)